OIZUMI AWARD 2023

2024. 01. 27

目次

あいさつ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
タイムテーブル ・・・・・・・・・・・ 2
校内マップ ・・・・・・・・・・・・・・ 4
アリーナ パネル配置図 ・・・・ 6
発表タイトル 中Ⅰ前半 ・・・・ 8
発表タイトル 中Ⅰ後半 ・・・・ 10
発表タイトル 中Ⅱ前半 ・・・・ 12
発表タイトル 中Ⅱ後半 ・・・・ 14
発表タイトル 中Ⅲ前半 ・・・・ 16
発表タイトル 中Ⅲ後半 ・・・・ 18
発表タイトル 高１前半 ・・・ 20
発表タイトル 高１後半 ・・・・ 22
発表タイトル 高２前半 ・・・・ 24
発表タイトル 高２後半 ・・・・ 26
メモ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
審査基準 ・・・・・・・・・・・・・ 29

OIZUMI AWARDとは

本校は、創立 83 年の歴史があります。平成 22 年度から附属中学校が併設され、新たに「大泉の探究」を教育活動として掲げました。校舎やグランドの案内板に探究 Quest の文字が刻まれています。平成 29 年度には、東京都から「知的探究イノベーター推進校」として指定され、高等学校において探究活動の授業である「QC（Quest & Creativity）」が開始されました。令和２年には、中学校において現在の形の探究活動が開始され、完全中高一貫に向けた探究活動のカリキュラムの構築と実践が行われてきました。

そのような中、令和５年１月に、第１回の「OIZUMI AWARD」（＝探究活動の発表会）が実施されました。それまでも各学年で発表会は実施されていましたが、学年を越えた生徒の主体的な学びや中高一貫の系統的な探究活動を推進するために、昨年度より中学校Ⅰ年生から高校２年生までの５学年合同で探究活動の発表会を実施することとしました。

今年度の各学年の発表形式や発表内容は以下の通りです。

学年	発表形式	発表内容
中Ⅰ	個人	理想のまちづくりを考えるための練馬地域探究
中Ⅱ・Ⅲ	個人 or チーム	社会課題解決に向けたアクションを伴う探究
高１・２	個人	興味・関心に応じた進路を意識した課題研究

OIZUMI AWARD では、各発表から刺激を受けるとともに、来場者との質疑・応答の対話からの新たな繋がりや気付きを重視します。ぜひ積極的な発言や交流をお願い致します。

あいさつ

OIZUMI AWARD の開催にあたって

校長　俵田 浩一

昨年から始まった「OIZUMI AWARD」は、本校の特色である探究活動の最終発表の場であり、とても重要な行事です。事前学習では、中学校Ⅰ年生から高校２年生までが１つのグループをつくり、５つの学年の生徒が一緒にグループで話し合いを行いました。中学生と高校生では取り組むテーマが違いますが、探究の進め方、探究的な視点と探究的な思考を上級生から学ぶことができるとても貴重な機会だったと思います。

本日は、１年間皆さんが取り組んできた探究の成果を発表します。中学生は、自信をもって発表してください。そして、レベルが高い高校生の発表を聞いて、積極的に質問をしてください。高校生は、各自の発表はもちろん、中学生の研究に対して積極的にアドバイスや意見をお願いします。皆さんの学習の積み重ねが学校全体の財産となり、本校の探究学習のレベルを向上させます。運営委員を中心に「OIZUMI AWARD」を成功させましょう。

運営委員長より

高校２年２組　中村 真奈

今年も無事にこの行事を迎えることができました。たくさんのご協力、本当にありがとうございました。この一年間は生徒一人一人が、自分の「好きなこと」と向き合い、問いと模索を繰り返し、ときには追い詰められながらも、各自の「好きなこと」を突き詰めてきたと思います。AWARD 当日では、皆さんの完成度の高い研究成果を惜しみ無く発表してください。新たな視点や知識を蓄える機会になれば嬉しいです。また、貴重な中高合同イベントの良さを生かし、ぜひ他学年とも交友を深めてください。学年を越えた対話では、次の探究テーマに繋がるような気付きが、きっとあると思います。

運営副委員長より

高校２年３組　近藤 まひろ

待ちに待った OIZUMI AWARD がついにやってきました。この日のために、みなさん様々な準備や努力を重ねてきたと思います。中学Ⅱ年生から高校２年生のみなさんは、昨年度の発表の反省を活かして今年はより良い発表ができるように頑張ってください。中学Ⅰ年生の皆さんは、今年初めての発表とあって、緊張や不安もあると思いますが、１年間の努力が発揮できるように頑張ってください。また、今年も昨年同様、他学年の発表を見る時間があるので、自分の成果を発表するだけでなく、新しいことをどんどん吸収して、探究活動を深めていきましょう。

タイムテーブル

8:20 – 8:30

開会式

8:45 – 9:30

中Ⅰポスター発表（前半）

1回目　08:45 ~ 09:00
2回目　09:00 ~ 09:15
3回目　09:15 ~ 09:30

⇒ 8~9 ページ

中Ⅲスライド発表（前半）

1回目　08:45 ~ 09:00
2回目　09:00 ~ 09:15
3回目　09:15 ~ 09:30

⇒ 16~17 ページ

9:35 – 10:20

中Ⅰポスター発表（後半）

1回目　09:35 ~ 09:50
2回目　09:50 ~ 10:05
3回目　10:05 ~ 10:20

⇒ 10~11 ページ

中Ⅲスライド発表（後半）

1回目　09:35 ~ 09:50
2回目　09:50 ~ 10:05
3回目　10:05 ~ 10:20

⇒ 18~19 ページ

10:35 – 11:20

中Ⅱスライド発表（前半）

1回目　10:35 ~ 10:50
2回目　10:50 ~ 11:05
3回目　11:05 ~ 11:20

⇒ 12~13 ページ

高1ポスター発表（前半）

1回目　10:35 ~ 10:50
2回目　10:50 ~ 11:05
3回目　11:05 ~ 11:20

⇒ 20~21 ページ

11:25

中Ⅱスライド発表
（後半）

1 回目　11:25 ~ 11:40
2 回目　11:40 ~ 11:55
3 回目　11:55 ~ 12:10

⇒ 14~15 ページ

高1ポスター発表
（後半）

1 回目　11:25 ~ 11:40
2 回目　11:40 ~ 11:55
3 回目　11:55 ~ 12:10

⇒ 22~23 ページ

12:10

昼食

13:00

高2ポスター発表
（前半）

1 回目　13:00 ~ 13:15
2 回目　13:15 ~ 13:30
3 回目　13:30 ~ 13:45

⇒ 24~25 ページ

13:45

13:55

高2ポスター発表
（後半）

1 回目　13:55 ~ 14:10
2 回目　14:10 ~ 14:25
3 回目　14:25 ~ 14:40

⇒ 26~27 ページ

14:40

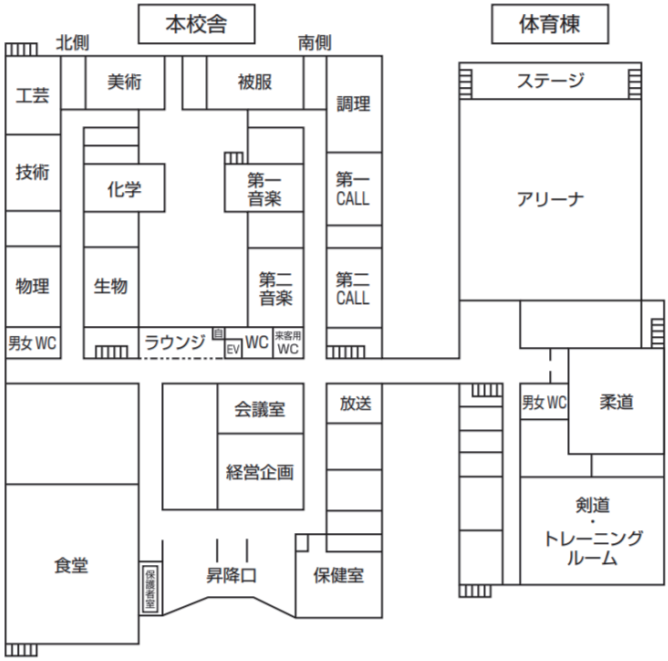
14:55

閉会式

16:10

校内マップ

〈1階〉

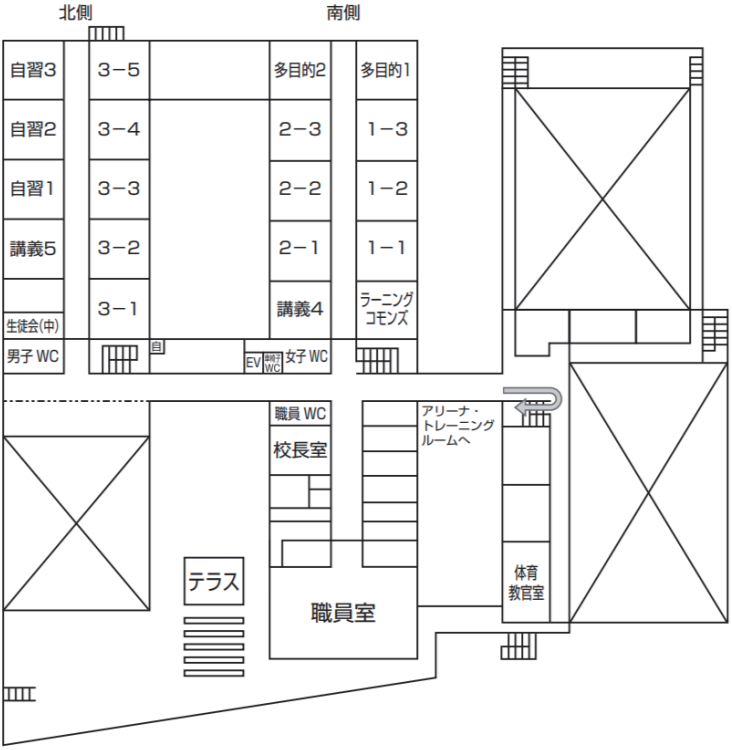


各学年の発表形態・会場

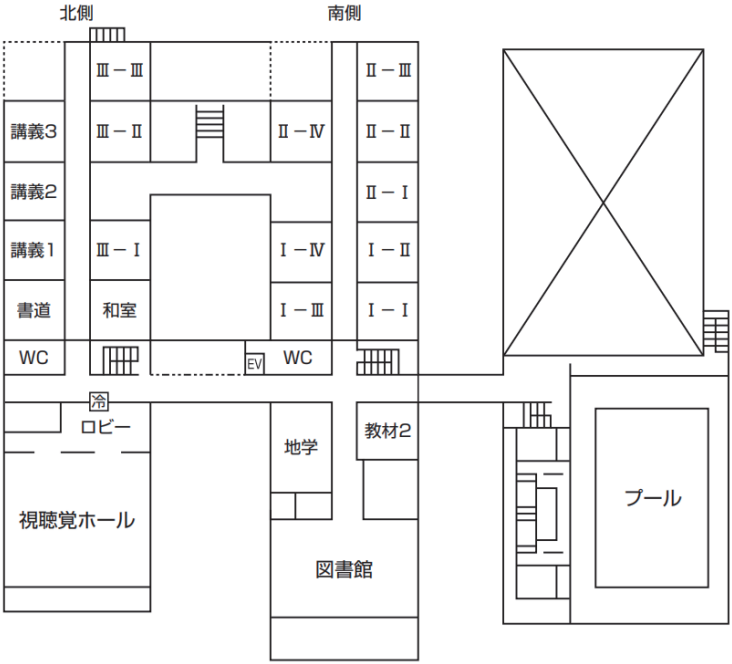
	中Ⅰ・高1・高2	中Ⅱ・中Ⅲ
形態	ポスター発表	スライド発表
会場	アリーナ	教室
詳細ページ	中Ⅰ：08~11ページ 高1：20~23ページ 高2：24~27ページ	中Ⅱ：12~15ページ 中Ⅲ：16~19ページ

その他ご不明な点がございましたら、運営委員（青色の腕章をつけた生徒）にお尋ねください。

〈2階〉


北側
南側
自習3
3−5
多目的2
多目的1
自習2
3−4
2−3
1−3
自習1
3−3
2−2
1−2
講義5
3−2
2−1
1−1
3−1
講義4
ラーニングコモンズ
生徒会(中)
男子 WC
自
EV
障害者WC
女子 WC
職員 WC
校長室
アリーナ・トレーニングルームへ
テラス
職員室
体育教官室

〈3階〉


北側
南側
Ⅲ−Ⅲ
Ⅱ−Ⅲ
講義3
Ⅲ−Ⅱ
Ⅱ−Ⅳ
Ⅱ−Ⅱ
講義2
Ⅱ−Ⅰ
講義1
Ⅲ−Ⅰ
Ⅰ−Ⅳ
Ⅰ−Ⅱ
書道
和室
Ⅰ−Ⅲ
Ⅰ−Ⅰ
WC
EV
WC
冷
ロビー
地学
教材2
視聴覚ホール
図書館
プール

アリーナ パネル配置図

中Ⅰ

【凡例】

A面 パネル番号 B面

ステージ

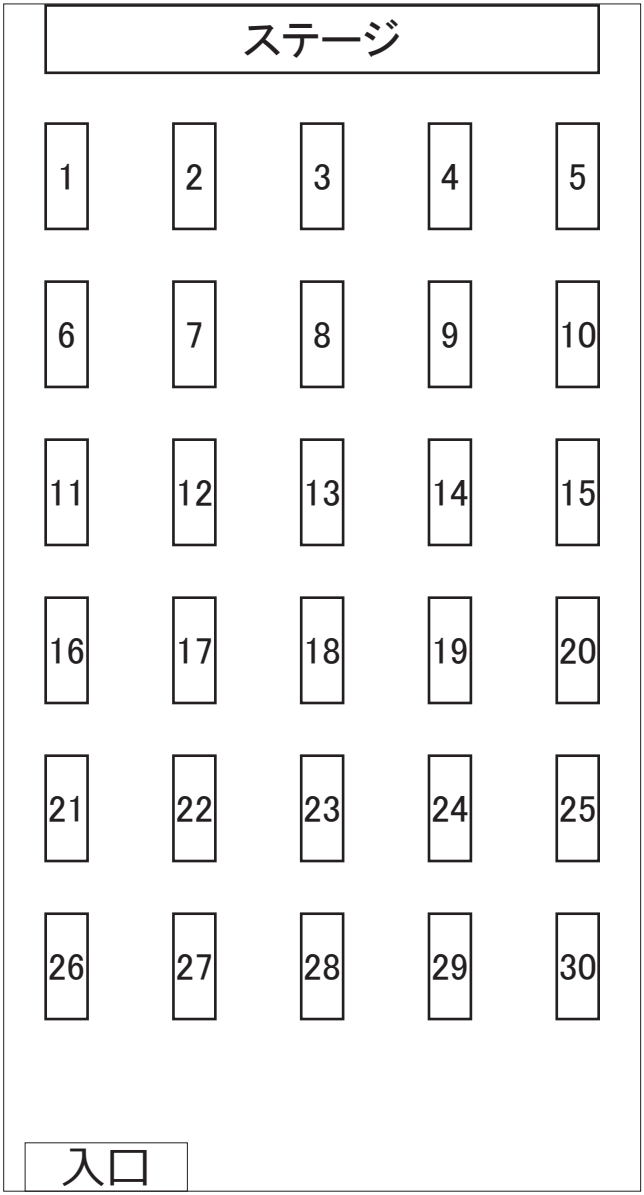
1	2	3	4	5
6	7	8	9	10
11	12	13	14	15
16	17	18	19	20
21	22	23	24	25
26	27	28	29	30
31	32	33	34	35
36	37	38	39	40

入口

高1，2

【凡例】

A面 パネル番号 B面



発表タイトル 中Ⅰ

パネル		発表者	発表タイトル
1	A	1101	練馬区の環境をより良くするために
	B	1103	練馬のゴミ問題
2	A	1105	練馬を自然の町に
	B	1107	商店街を未来に
3	A	1109	全世代の人々が満足して暮らせる町へ
	B	1111	図書館から考える、 老若問わず利用できる施設とは
4	A	1113	より良いまちとは
	B	1115	自治会への加入者を増やすために何ができるのか　ー自治会の抱える問題とはー
5	A	1117	伝統を守るために ー地域の伝統であるお囃子を守るためにできることー
	B	1119	区民の意見を更に知ることができる区へ ー練馬区が区民の意見を多く集めるためにはー
6	A	1121	人々と自然が共生できるまちづくり
	B	1123	練馬区をコミュニティのあるまちに
7	A	1125	ねりまのみどり
	B	1127	練馬区の景観を守るためには
8	A	1129	練馬区の人口はどう変動しているのか
	B	1132	ごみ問題と向き合う
9	A	1134	人との交流を増やすためには何をすればいいのか
	B	1136	頼れる雰囲気のある地域
10	A	1138	より良い地域関係を築くために
	B	1140	安全な街に必要なものとは
11	A	1202	伝統を通じて地域との関わりをさかんに ー練馬をあたたかい町へー
	B	1204	練馬の不法投棄を減らすには
12	A	1206	住みたい・住みやすい町とは ー練馬を住みやすい町にするにはー
	B	1208	練馬の自然環境
13	A	1210	商店街のにぎわいを復活させるには
	B	1212	練馬区の遊び場・地域交流
14	A	1214	また来たい！と思うまちづくり
	B	1216	不法投棄されない練馬を目指して
15	A	1218	高齢者や障がい者にとっても住みやすいまちとなっているか
	B	1220	練馬の自然が減ってきている理由
16	A	1222	近隣住民と仲の良い あたたかい街にするには
	B	1224	練馬の緑被率の変化と野鳥の生息数
17	A	1226	練馬区の公園と子ども
	B	1228	練馬大根を知ってもらうために
18	A	1230	地元のキャッシュレス決済利用率を探る
	B	1232	障害者や高齢者が通いやすい施設に　最適なバリアフリーの提案
19	A	1234	中学生が訪れたくなる緑地とは
	B	1236	「みんな」で練馬に緑を増やす
20	A	1238	不法投棄を減らすために
	B	1240	練馬区の外国人が住みやすいまちにするために

前半

発表時間
① 8:45~9:00 ② 9:00~9:15 ③ 9:15~9:30

中学Ⅰ年
保護者用
QR コード

パネル		発表者	発表タイトル
21	A	1302	練馬区の不燃ごみと SDGs の関係
	B	1304	住民たちが交流して仲良くできる町へ
22	A	1306	ふるさと文化館の来場者を増やすためには？
	B	1308	練馬区の緑を守るためにボランティアを
23	A	1310	石神井城から活かせること
	B	1312	練馬の農業を地産地消につなげるためには
24	A	1314	大江戸線延伸で練馬区に更なる発展を
	B	1316	練馬区の病床数について
25	A	1318	練馬区に住む子供たちと木々
	B	1320	練馬の公園を自然豊かにするには　ゴミの落ちていない自然のあるまちへ
26	A	1322	自然と人の関わり
	B	1324	自然を身近に感じられるまち
27	A	1326	練馬区の交通を便利にするためには
	B	1328	自然と文化の共存・存続
28	A	1330	地域活動を通して地域の方と関わるために
	B	1332	練馬区の観光
29	A	1334	練馬区の世代交代と住みよいまちづくり
	B	1336	練馬区の公園の緑被率
30	A	1338	緑をもっと活用して ー日常生活に自然を取り入れるには？ー
	B	1340	練馬区の自然と大人
31	A	1402	商店街の来客数増加へ
	B	1404	自然を効率よく暮らしに取り入れるためには
32	A	1406	練馬区の緑について
	B	1408	環境を守るために
33	A	1410	外出離れの理由
	B	1412	障がい者を支える練馬区のバリアフリー
34	A	1414	自然に興味を持ってもらうために
	B	1416	練馬区をコミュニティ溢れるまちに ー地域活動の参加へー
35	A	1418	ポイ捨てについて ーゴミ箱からー
	B	1421	安全で暮らしやすいまちにするには
36	A	1423	地域活動の注目を集めるポスターとは
	B	1425	理想の街を目指して ー子供も住みやすい街に向けてー
37	A	1427	練馬区を、 住民同士が積極的に関わるまちへ
	B	1429	練馬区を、 住みやすい街にするために ー練馬区の強みと改善点ー
38	A	1431	地域コミュニティについて
	B	1433	地域イベントとまちのコミュニティ
39	A	1435	練馬の自然を魅力にするには
	B	1437	お年寄りが住みやすい町
40	A	1440	練馬区を連携のとれたまちに
	B	1130	「魅力的」な街をつくるにはどうすればいいか ー自然保全と観光の利用ー

発表タイトル 中Ⅰ

パネル		発表者	発表タイトル
1	A	1102	自然とふれ合う練馬
	B	1104	地域で行う防災
2	A	1106	練馬の自然を減らさないためには、 増やすためには
	B	1108	練馬のごみについて
3	A	1110	練馬の文化、 アニメ
	B	1112	練馬の商店街を未来につなげ！ ー後継者不足解決に向けてー
4	A	1114	練馬の地域交流 ー子供食堂と地域の輪ー
	B	1116	ごみのポイ捨てをやめよう
5	A	1118	練馬区を住みやすい街にするには
	B	1120	練馬区の課題と解決
6	A	1122	練馬の自然の減少について
	B	1124	ゴミがない綺麗なまちへ ー公園のゴミを減らすにはー
7	A	1126	暮らしやすいまちづくり ー練馬区を「理想のまち」に近づけるにはー
	B	1128	練馬区の環境保全
8	A	1131	
	B	1133	子供が楽しく住むことができるまち
9	A	1135	練馬を理想の街へ ー安心して暮らせる街ー
	B	1137	練馬の魅力の伝え方 ー知られていない練馬の取り組みを知ってもらうためにー
10	A	1139	子供が自由に遊べるまちへ
	B	1201	外国語表記を増やすためには
11	A	1203	歩道を走る自転車について
	B	1205	商業施設で練馬区をつくる
12	A	1207	練馬を暮らしやすい街に
	B	1209	練馬の魅力を発信するために
13	A	1211	高齢者が住みやすいまちについて
	B	1213	まちの自然と利便性
14	A	1215	空き家にもう一つの使い道を
	B	1217	大泉学園は子どもも住みやすいまちなのか？
15	A	1219	練馬区の水源
	B	1221	“緑豊か”な練馬にするために
16	A	1223	練馬の文化について ー練馬の魅力を伝えるためにー
	B	1225	引き込まれる飲食店作り
17	A	1227	石神井公園の近辺に住む人が石神井公園により関心を持てるようにするには
	B	1229	なぜ、 人間と自然は離れてしまった？ ー人間と自然の過去と今ー
18	A	1231	練馬区の道路の安全のために
	B	1233	自分たちの住むまちの自然を守るために出来ること
19	A	1235	練馬は子育てがしやすい地域か？
	B	1237	のびのびとできる街づくり ーボランティア活動の普及をー
20	A	1239	練馬区の魅力の伝え方
	B	1301	アニメ文化発信の工夫

後半

発表時間
① 9:35~9:50 ② 9:50~10:05 ③ 10:05~10:20

中学Ⅰ年
保護者用
QR コード

パネル		発表者	発表タイトル
21	A	1303	便利な生活を支えるもの ー交通編ー
	B	1305	練馬区のリサイクル率を上げるには
22	A	1307	練馬の祭りの参加率を上げるためには？
	B	1309	子どもの外遊びが盛んな街
23	A	1311	練馬を理想のまちにするためには ー練馬のにぎわいの比較ー
	B	1313	練馬をよりよくするために ー美しい川に学ぶー
24	A	1315	練馬区のリサイクル
	B	1317	練馬区の防災の認知度について
25	A	1319	緑を守るイベントから自然に興味を ー住民同士で自然を守るー
	B	1321	地域の畑の販売状況　地元農家さんのインタビューを通して
26	A	1323	練馬区を外国人も住みやすい街にするには ー多文化共生の視点から考えるー
	B	1325	練馬の川・池の湧水を復活
27	A	1327	練馬区の緑被率を 23 区で No,1 にするには
	B	1329	緑と人々が共存していくには
28	A	1331	獣医師の働きがいの向上を図る
	B	1333	地産地消の取り組みについて
29	A	1335	ごみ問題について　ーやってみませんか？意識の改革ー
	B	1337	練馬をより良い街に ー街路樹の利用ー
30	A	1339	練馬区で自然と触れ合う機会を増やすために
	B	1401	自然と農家の関係性について
31	A	1403	練馬区の公園について　ーみんなが利用しやすい公園にするためにー
	B	1405	ボランティア活動によって練馬をよりいいまちに
32	A	1407	緑あふれる練馬区
	B	1409	練馬区民の生活をより豊かにするには ー 2 つの視点における福祉の充実ー
33	A	1411	練馬で若者に楽しんでもらうには
	B	1413	大泉を理想のまちに近づけるためには
34	A	1415	Making Nerima a Language-rich Town　－The Reality of English Language Education－
	B	1417	地域の憩いの場 ーみんなが知って活性化へー
35	A	1419	How to Make Nerima an Ideal Town － Coexistence with the Heat －
	B	1422	植物に興味を持つために
36	A	1424	人とみどりが共生するためには
	B	1426	練馬区の『キレイを保つ』まちづくり
37	A	1428	民間団体のイベントと住民の思い
	B	1430	練馬の自然で SDGs の精神を育むには
38	A	1432	あなたの一歩が街の一歩 ー地域活動を知って街をきれいにー
	B	1434	住みやすい街を作るために
39	A	1436	地域通貨で地域コミュニティ活動を活性化
	B	1439	ボランティアを増やそう！
40	A	1420	地域全体が協力して活気あるまちにするにはどうすれば良いのか
	B	1438	残飯について ー食品ロスを減らすためにはー

発表タイトル 中Ⅱ

ゼミ・チーム		発表者	発表タイトル	発表
グローバル１ （清水先生）	1	2117 2205 2306	中高生のための新 SNS を開発してみた ージェンダーバイアスを改善するには？違和感の共有による意識改善ー	3－5
	3	2309 2315	LGBTQ+ の考え方のギャップを徹底解明！ 驚愕の真実に迫る！！	3－4
	5	2136 2215	晴眼者の視覚障害者に対する無関心	3－3
グローバル２ （砂盃先生）	1	2204 2229 2230 2237	規格外野菜に対する人々の認識と署名活動がもたらす 食品ロス削減への影響	3－2
	3	2116 2119 2329	海洋に流出する街ごみをどうすべきか ー清掃ボランティアでの呼びかけ―	3－1
	5	2106 2107	フードロスに関する子供の意識変化 ーカードゲームがもたらす可能性ー	多目的２
グローバル３ （北田先生）	2	2108 2201 2223 2302	あつまれ過疎化の森 ー東京都檜原村から考える日本の過疎ー	2－3
	4	2209 2210 2214	中学生が教師を救う！？ ー教師の労働問題解決に向けて中学生ができることー	2－2
	6	2115 2123 2133 2425	中学生のイメージ改革 ー子育て世代への接し方ー	2－1
環境 （手塚先生）	2	2120 2326 2340	ちいさなハイドロエネルギー研究所 ー小水力発電という新しい発電方法を広めるためにー	講義室４
	4	2135 2412 2417	食糧危機を乗り越える昆虫食の普及 ーそこらのムシが未来を救うー	多目的１
	6	2127 2137 2418	知っていますか？注目の再生可能エネルギー ー小水力・水素・太陽光の特徴の比較ー	1－3
経済・経営 （門間先生）	1	2104 2132 2401	ポイ捨てをなくす or ゴミ拾いをする ー都市部で効果があるのはどっち？ー	1－2

前半

発表時間
① 10:35~10:50 ② 10:50~11:05 ③ 11:05~11:20

中学Ⅱ年
保護者用
QR コード

ゼミ・チーム		発表者	発表タイトル	会場
経済・経営 （門間先生）	3	2101 2125 2232 2438	過疎地域への移住を活性化させる ー都心部の移住希望者が求めるポイントー	1－1
	5	2415 2421 2428	消費者のファッションロスを減らす ー「洋服ポスト」から服を世界にー	ラーニング コモンズ
人文 （宮武先生）	1	2221 2236 2434	中高生の朝食喫食率を上げるための手軽な朝食	Ⅲ－Ⅲ
	3	2114 2129	着物への意識調査に基づくニュースタイルの提案 ー若者の着物離れを食い止めるにはー	Ⅲ－Ⅱ
	5	2122 2405	伝統文化に現代風は必要か ーお箏で J-pop を弾くー	Ⅲ－Ⅰ
	7	2139 2231 2431 2433	Spreading Yukata to People ー男性着用者を増やすためにはー	Ⅱ－Ⅳ
心理１ （長島先生）	1	2124 2216 2319 2334	スマホ依存症の原因と解決のカギ ースマホの時間と会話の時間は反比例 !? ー	Ⅰ－Ⅳ
	3	2409 2416 2423 2424	若者のスマホ依存からの脱却 ーさよならいつものスマホ生活ー	Ⅰ－Ⅲ
	5	2112 2219 2432 2439	アプリ開発から始まる私たちのデジタルデトックス ー中高生のスマホ依存を吹っ飛ばそう！ー	Ⅱ－Ⅲ
心理２ （山本先生）	1	2239 2303 2321 2408	あなたはどうする？ ー子供に LGBTQ+ だとカミングアウトされたらー	Ⅱ－Ⅱ
	3	2222 2320	ネットで広がる若者への介護に対するイメージ改革	Ⅱ－Ⅰ
	5	2238 2307 2403	グループワークによる中学生の学習意欲の向上 ーラーニングコモンズの活用ー	Ⅰ－Ⅱ
	7	2305 2311 2322	中学生の不登校を事前に防ぐには ーオンライン自習室で学習の手助けをー	Ⅰ－Ⅰ

発表タイトル 中Ⅱ

ゼミ・チーム		発表者	発表タイトル	会場
グローバル１ （清水先生）	2	2121 2128 2414 2426	日本社会は LGBTQ+ の学生たちへの理解を進めているのか ーカミングアウトをしにくい現状ー	3－5
	4	2113 2134 2420	固定観念なんて吹き飛ばせ！ ー制服で自分をあらわせる時代ー	3－4
	6	2324 2331 2440	ギャルマインドで打ち勝ついじめ問題 ー悩みを聞いてくれるギャル爆誕！？ー	3－3
グローバル２ （砂盃先生）	2	2313 2314 2336	残飯ゼロ作戦 ー配膳方法の工夫がもたらす影響ー	3－2
	4	2109 2130	Haizenkaikaku ー給食の食品ロスを減らす配膳の“改革”ー	3－1
グローバル３ （北田先生）	1	2140 2220 2407	カジュアルソーシャルアクション ー地域の人と共に体験格差を解決するにはー	多目的２
	3	2228 2330 2333 2338	お米でコウノトリを助けようの会 ー乾田化による水鳥の減少についてー	2－3
	5	2103 2203 2337	小学生の義足スポーツの普及 ーミズノ・今仙技術研究所との対談を受けてー	2－2
環境 （手塚先生）	1	2102 2110 2213 2316	「ダイズ」の「ダイジ」なお話 ー原産国に注目した国産大豆製品の試食会による 消費者の国産大豆購入意欲の向上についてー	2－1
	3	2131 2304 2435	電気自動車の小学生への周知 ー電気自動車の知識の不足ー	講義室４
	5	2207 2217 2312 2410	未来を変える防災 ー 32 万人を救えー	多目的１
	7	2225 2301 2327 2335	太陽光発電をバズらせたい！ ーカードゲームで興味関心をー	1－3

後半

発表時間
① 11:25~11:40 ② 11:40~11:55 ③ 11:55~12:10

中学Ⅱ年
保護者用
QR コード

ゼミ・チーム		発表者	発表タイトル	発表
経済・経営 （門間先生）	2	2323 2339 2427	IT を利用した効率的な学習方法の確立	1－2
	4	2118 2126 2211 2212	親の年収と子供の学歴の相関性 ー親の価値観の改革に向けてー	1－1
	6	2138 2402 2419	街のポイ捨てゴミをなくす ースマホアプリ活用術ー	ラーニング コモンズ
人文 （宮武先生）	2	2325 2413	中学校のヤングケアラーを支援に繋げる ー学校の取り組みと生徒への情報の伝え方ー	Ⅲ－Ⅲ
	4	2308 2318	大泉生の緑への意識改革！ ー教室に観葉植物を置いてみたー	Ⅲ－Ⅱ
	6	2105 2208 2224	東大生も行う６つの志向を用いた勉強改革Ⅰ	Ⅲ－Ⅰ
	8	2202 2227 2240	フィンランドのいじめ対策から紐解く日本のいじめの現状と対策	Ⅱ－Ⅳ
心理１ （長島先生）	2	2233 2422	いじめ解決への糸口を見出す！　ー心の拠り所になるコミュニケーションツール「Warm Home」ー	Ⅰ－Ⅳ
	4	2111 2328 2332	友達間でのグループの壁を超える ーランダム席替えによる効果ー	Ⅰ－Ⅲ
	6	2429 2436 2437	心理学に着目したスマホ制限アプリの開発	Ⅱ－Ⅲ
心理２ （山本先生）	2	2406 2411 2430	数値で分かる！親子間の偏見に対する考え方の共通点	Ⅱ－Ⅱ
	4	2226 2234	中高一貫校生へ ー大学生より後悔 (あい) をこめてー	Ⅱ－Ⅰ
	6	2235 2404	物語で親しむ地域と猫の保護問題	Ⅰ－Ⅱ
	8	2218 2310 2317	全盲とは？視覚障がいの方々について実際に聞いてみた！	Ⅰ－Ⅰ

発表タイトル 中Ⅲ

ゼミ・チーム		発表者	発表タイトル	会場
グローバル（ローディング先生）	1	3113 3117 3119 3226	Mission 1 野菜自動販売機を救え！ ー出張授業で子どもに伝えるー	3－5
	3	3118 3131 3222 3325	日本の犬猫の尊厳を守るために ー保護団体の実態から探る、 私たちにできることー	3－4
	5	3124 3133 3301 3338	コンポスターによる給食のごみ削減 ー学校での堆肥作りー	3－3
心理１（山口先生）	1	3104 3111 3312 3318	中学生の食による睡眠の質向上について	3－2
	3	3135 3335 3336	双方向性のあるアプリケーションの使用が睡眠に及ぼす影響 ー先行研究とインタビューから考えるー	3－1
	5	3107 3110	新時代の子どもとスマホの関わり方 ー保護者へのインタビューを通して考えるー	多目的２
心理２（安齋先生）	1	3224 3233 3316 3326	中高生のいじめ相談に対する偏見をなくす ー相談機関を身近にするにはー	2－3
	3	3108 3125 3203 3309	親と子のすれ違い ー不登校において個々に求められる理解とはー	2－2
	5	3123 3206 3305 3317	生きろ。 ー自殺大国日本をどう救うかー	2－1

前半　発表時間
① 8:45~9:00 ② 9:00~9:15 ③ 9:15~9:30

中学Ⅲ年
保護者用
QR コード

ゼミ・チーム		発表者	発表タイトル	会場
生物・化学（七森先生）	1	3126 3319	PFAS の人体への影響と除去方法について ー身近に潜む危険ー	多目的 1
	3	3139	昆虫食は本当に食糧として成り立つのか？	1－3
	5	3105	落ち葉を焼却した時、 大泉の植栽林における二酸化炭素排出量はどれくらいなのか ー落ち葉から地球温暖化を考えるー	1－2
	7	3302	海洋プラスチック問題において最も有用的な生分解性プラスチックとは？ ーバイオプラスチックの可能性ー	1－1
	9	3333	コオロギ食は人体に影響を及ぼすのか？ ーコオロギ以上にタンパク質が取れる最強のレシピを作ってみたー	ﾗｰﾆﾝｸﾞｺﾓﾝｽﾞ
物理・数学（上野先生）	1	3201 3221	高速道路の渋滞を減らしたい 2 人の中学生 ー首都高のデータから読み取り考える啓発ポスターの作り方ー	Ⅱ－Ⅳ
	3	3209	都立中高一貫校生のストレスの原因と解消法	Ⅰ－Ⅳ
	5	3102 3321	健康寿命と食生活	Ⅰ－Ⅲ
経営・経済（川上先生）	1	3207 3215 3223 3237	生活習慣による潜在的睡眠不足 ー睡眠診断テストで可視化ー	Ⅱ－Ⅲ
	3	3219 3332	観光業推進による地域経済の格差是正 ーアニメやフォトジェニックによる宮崎県の経済活性化ー	Ⅱ－Ⅱ
人文（大野先生）	1	3128 3132 3136 3308 3337	身近な差別の種 ー無意識にまいていませんか？ー	Ⅱ－Ⅰ
	3	3129 3134 3137 3234 3314	ラベリングしていませんか？ ー創作絵本で幼児期から伝える多様性ー	Ⅰ－Ⅱ
	5	3304 3322	100 年前からの手紙 ー「関東大震災」の経験を「デジタルアーカイブ」で「今」につなげるー	Ⅰ－Ⅰ

発表タイトル 中Ⅲ

ゼミ・チーム		発表者	発表タイトル	会場
グローバル（ローディング先生）	2	3205 3324 3328 3329	『食べる』を『学ぶ』 ー食品ロス削減のための幼小中別教育と意識改革！！ー	3－5
	4	3120 3217 3238 3116	あなたが変える！ No Vegetable Loss ー消費者が考える小売店への要望調査ー	3－4
	6	3114 3127 3310	Accept all people for who they are ー異文化交流会を通じて日本人が持つ 外国人への差別偏見をなくすためにー	3－3
心理１（山口先生）	2	3115 3211 3213 3306	子育てにおける母親が感じる孤独感 ー図書館でのイベントで頼れるコミュニティ作りをー	3－2
	4	3103 3121 3208	脱スマホ旅 ースマホなしの１週間ー	3－1
	6	3138 3320 3327	スマホ依存を脱却するとはどういうことか？ ー睡眠不足を解消するための DX 活用ー	多目的２
心理２（安齋先生）	2	3112 3202	人間関係は無限大！？ ー自分に合ったコミュニティを見つけよう ver. 中高生ー	2－3
	4	3106 3216 3218 3220	ひとりの教師、 無数の使命 ー教師の長時間労働を減らすためにー	2－2
	6	3101 3130	愛の方程式 ー中高生に対する恋人を見つけるためのアンケートによるアプローチー	2－1

後半

発表時間
① 9:35~9:50 ② 9:50~10:05 ③ 10:05~10:20

中学Ⅲ年
保護者用
QR コード

ゼミ・チーム		発表者	発表タイトル	会場
生物・化学（七森先生）	2	3232 3323	日焼け止め剤が引き起こすサンゴの白化現象の解決方法とは ーマイコスポリン様アミノ酸を活用した海に影響の無い紫外線対策ー	多目的１
	4	3311	光害によって生物と人体はどう変化するか？	１－３
	6	3236	日常生活でリラクセーションの状態にするには ー植物による心理効果ー	１－２
	8	3204	3D 映像技術実用化に向けての課題と展望	１－１
物理・数学（上野先生）	2	3313	近年増加傾向にあるシングルマザーの正規雇用率の意識調査の報告	Ⅱ－Ⅳ
	4	3212	中学生・高校生の自殺要因と防止 ー他者への相談が自殺者数に及ぼす影響ー	Ⅰ－Ⅳ
	6	3109	探究学習に課題はあるか　（大泉生へのアンケートと考察）	Ⅰ－Ⅲ
経営・経済（川上先生）	2	3227 3228 3235 3307	地方を盛り上げるためのブランディングとは？ ーいすみ鉄道に見る魅力の発見方法ー	Ⅱ－Ⅲ
	4	3214 3225 3330	買い物難民問題を解決するために ー平等な買い物を実現ー	Ⅱ－Ⅱ
人文（大野先生）	2	3210 3229 3303 3331	子供の興味・関心を広げるには？ ー Create from にゃくてるー	Ⅱ－Ⅰ
	4	3122 3315 3339	あなたの LGBTQ の知識は本当に正しい？ ー SNS から考える差別・偏見のなくしかたー	Ⅰ－Ⅱ

発表タイトル 高1

ゼミ	パネル		発表者	発表タイトル
商・経営（神先生）	1	A	4107	電子書籍の本棚を使いやすくするには？ ー本の「長さ」の表示方法に着目してー
		B	4121	血液の安定供給・安全性確保のために有償採血は有効か
	2	A	4202	エスコンフィールドの観客動員数を増加させるためには
		B	4221	Jリーグ観客数増加のためにクラブがすべきこととは
	3	A	4301	有言実行のための計画表とは
		B	4317	ファッションから循環型社会を実現 ー古着の「質」を上げることは学生の古着使用率を上げるために有効かー
心理（小川先生）	4	A	4105	推し活は人を元気づけるのか ー宗教との共通点、相違点からみるー
		B	4119	暗記科目における最も効果的な勉強方法とは ー英単語テストの勉強方法と点数を比較してー
	5	A	4126	料理が美味しく見える背景の色とは
		B	4309	教員が金融を学べる機会を増やすには ー教員の意識（意識調査）から考察ー
	6	A	4315	インテリアカラーが与える心理的効果 ーインテリアのプロの目線から考察ー
		B	4331	地方観光における顧客のリピート率を上げる条件 ー M - GTA 分析に基づく一考察ー
グローバル（亀田先生）	7	A	4118	人間関係を悪化させないためには
		B	4134	日本人が学びやすく実用性のある言語は何か ー日本人が学ぶ第二言語に英語は最適かー
	8	A	4206	世界各地での酒の知名度と需要 ー日本の酒を国外に売り出すためにはどうすれば良いのかー
		B	4308	人からの印象において維持されやすい表情とは
	9	A	4319	発展途上国で増える肥満 ー抑制のために有効な対策とはー
		B	4333	すべての人が着やすいジェンダーレス制服のデザインとは
法律・政治（田中先生）	10	A	4110	SNS への写真投稿による個人情報の漏洩を防止できる規則とは
		B	4117	死亡前死因分析は特殊詐欺の対策たりうるか
	11	A	4219	理科の点数を上げることができる色彩の心理効果を用いたテキストとは
		B	4224	SNS における著作権問題を減らすために効果的な対策とは
	12	A	4306	戦間期のナチスドイツにおけるイギリスの宥和政策における改善点とそこから見出せる欧米諸国のロシアへの対応の最適解とは
		B	4334	生成 AI とイラストレーターが並存するためには

前半

発表時間
① 10:35~10:50 ② 10:50~11:05 ③ 11:05~11:20

高校１年
保護者用
QR コード

ゼミ	パネル		発表者	発表タイトル
人文（美原先生）	13	A	4113	影響を与える物語の作り方 ー大泉生徒へのアンケートの結果から考察しうる要素とはなにかー
		B	4207	二次創作を盛り上げるには
	14	A	4229	現代の多くの人に評価される小説の書き出しの特徴とは
		B	4233	SNS メッセージにおける場面ごとの適切な絵文字とその傾向とは
	15	A	4313	手書き文字の読みやすさと書く速さを両立するためには
ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ（森島先生）	15	B	4127	UNO における効果的なカードの切り方とは
	16	A	4211	人間の直感を導く方法とは
		B	4223	年齢が違う役はどう演じ分ければ良いのか
	17	A	4231	AI に探究はできるのか
		B	4237	より上手く片手バックハンドを打つ方法は存在するのか
	18	A	4328	SNS 上でのフェイクニュースに騙されないためには
物理・数学（浜田先生）	18	B	4116	学生が進路選択をしやすくするには
	19	A	4130	オートミールを調理する際の最適な調理法とは
		B	4135	FM 音源のオペレーター周波数比と出力される倍音にはどんな関係が成り立つのか？
	20	A	4217	自分好みの紅茶を作るには ー紅茶の入れ方から探るー
		B	4318	病院食はおいしいの？ ー進化する病院食と課題ー
	21	A	4322	マス math 好きになる数学 ー数学嫌いを解決するためにー
科学技術・工学（石井先生）	21	B	4131	哲学概念をより正確に定義するにはどうすればよいのか
	22	A	4213	スマホ依存症から抜け出すには ー依存性の分類から効果的なアプローチを導くー
		B	4218	土壌汚染の拡大を防ぐには ー私たちにもできる対策ー
	23	A	4302	小学生１年生の交通事故を減らすには？ ー自動車の死角に対する考察を元にしたシステム作りー
		B	4312	貧困層における情報格差の問題
生化学・環境（堀先生）	24	A	4114	漢方薬のきつい味を抑えるのに最もよい方法は何か？
		B	4208	彼岸花の造りはモノ造りに活用できるのか ー生体工学の観点からー
	25	A	4228	患者の状況に的確に対応した医療を提供するには？ ーチーム医療に視点をあてて考えるー
		B	4324	若者の野菜不足解消のために有効な方法は何か ー練馬産の食材を生かしたビタミン不足解消のスムージーの開発ー
	26	A	4326	運動時のマスク着用が口腔内 pH の低下を促進させるか ー高校１年を対象とした実験から考えるー
		B	4335	音楽が勉強に与える影響とは

発表タイトル 高1

ゼミ	パネル		発表者	発表タイトル
商・経営（神先生）	1	A	4115	陸上競技専門店からのアプローチで競技人口を減らさないためには
		B	4123	一般企業で出世するには何が必要なのか
	2	A	4205	バレーボール人気を高めるには
		B	4234	映画の予告編によって人々の鑑賞意欲は変化するのか
	3	A	4307	人々が貰いたいと思うティッシュ配りの物はなにか
		B	4330	洋服販売店での人的販売は非計画購買にどのような影響を与えているのか
心理（小川先生）	4	A	4109	「絵柄が似ている」条件とは ーイラストの顔のパーツに着目してー
		B	4124	ストレスと菓子の摂取にはどのような関係があるのか ー菓子への印象と食べる前後での心情変化を通してー
	5	A	4305	大泉生に「ふさわしい」眉毛とは
		B	4314	ご近所付き合いは幸福度を上げるのか ー Grounded Theory Approach を通してー
	6	A	4329	印象をよく見せる服の色とは
グローバル（亀田先生）	6	B	4103	外国人に折り紙を教えるためには
	7	A	4120	転職でお金を効率よく稼ぐには
		B	4201	スポーツと音楽を用いた支援で難民の社会的包摂を実現するには
	8	A	4235	アジア圏の言葉から見る文化の違いとは ー日韓の文化交流の歴史に倣って異文化理解を深めるー
		B	4316	日本の英語教育 ーなぜ日本人は英語が「できない」のか、そしてその改善策はー
	9	A	4332	海賊版による被害を減らすには
法律・政治（田中先生）	9	B	4101	日本の高齢者グループホーム改革 ー海外のグループホームから考えるー
	10	A	4112	日本の有効な空き家対策とは
		B	4128	異文化理解がより身近でできるためには ー食文化の面から探るー
	11	A	4222	ChatGPT は教員の授業準備の効率化に有効か ー３教科で指導案を比較して探る ChatGPT の可能性と限界ー
		B	4304	メディアは実名報道をすべきか
	12	A	4311	生徒の主体性を伸ばすアクティブ・ラーニングは、学力向上と並立できるのか
人文（美原先生）	12	B	4108	多くの人に読まれる推理小説の探偵に必要な要素とは
	13	A	4203	アガサ・クリスティの探偵小説において助手の役割はどのように変化していったか

後半

発表時間
① 11:25~11:40 ② 11:40~11:55 ③ 11:55~12:10

高校１年
保護者用
QR コード

ゼミ	パネル		発表者	発表タイトル
人文（美原先生）	13	B	4209	私たちは何故 “ヴィラン” に魅了されてしまうのか
	14	A	4230	金管楽器の音程を合わせるのに耳を使うことは効果的か
		B	4236	女性の笑顔による印象効果とは ー人はどこを見てるのか？ー
ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ（森島先生）	15	A	4125	「エモい」写真において被写体の違いによる色相や彩度などの違いはあるのか
		B	4129	ゲーム内アイテムの価格予測 ー予測から利益は得られるかー
	16	A	4215	科学的に学力を上げるには ー自意識と学力の関係から探るー
		B	4225	ギターを挫折しないためには
	17	A	4232	サッカーのビルドアップにおいて効果的なボールの回し方とは
		B	4310	ディズニーにおけるプリンセス像 ーディズニープリンセスにみる主役の多様性ー
物理・数学（浜田先生）	18	A	4102	サッカーにおけるインパクトとロングキックの飛距離にはどのような関係があるのか
		B	4122	低カロリーのメロンパンを作る方法とは
	19	A	4133	部活動における怪我をした際の最善の対処法とは
		B	4136	ガロア理論 ールービックキューブでつながる群論と日常とはー
	20	A	4220	
		B	4321	卓球ラバーを安くするには
科学技術・工学（石井先生）	21	A	4104	ペットの同行避難をするための避難所の理想形とは
		B	4212	メッセージアプリの違いから考える、やり取りを活発化する UI とは
	22	A	4214	効果的な部活動勧誘とは ー部活動選択の要因から考察するー
		B	4226	SNS における文面の分類と、それに紐付く印象とは
	23	A	4303	疑似スパムメールから考える ーデジタルデバイドとサイバー犯罪は関係するのかー
生化学・環境（堀先生）	23	B	4111	46 億年の進化に学ぶ ーバイオミメティクスにおける共通点は見いだせるのか？ー
	24	A	4132	心拍数と怪我のリスクの関係性 ー最も適した心拍数の上がり幅は？ー
		B	4210	水道水から有機フッ素化合物を除去する方法とは
	25	A	4323	医療の地域格差をなくすには？ ー医師の地域偏在から考えるー
		B	4325	足の筋力の低下に伴う運動と筋力が戻ることの関係性について
	26	A	4327	ルーティンの改善により睡眠負債を解消できるだろうか

発表タイトル 高2

ゼミ	パネル		発表者	発表タイトル
商・経営（今田先生）	1	A	5108	プロ野球の女性ファンを増やすためには球団のどのような取り組みが必要か？
		B	5116	CM モデルの採用基準とは
	2	A	5124	中高生が漫画をより読むためには
		B	5201	高校生の飲食店におけるリスク選好とは？
	3	A	5212	自動販売機ビジネス
		B	5226	オーケーはどのようにして 13 年連続顧客満足度 1 位を獲得しているのか
	4	A	5308	高校生をターゲットにしたメンズアパレルブランドがパンツ商品で成功するには？
		B	5316	今後の音楽産業の AI 利用形態とは
	5	A	5321	ダイソーはより高い利益をあげるために日本のどの地域に出店するべきか？
グローバル（田中先生）	5	B	5114	Is it possible for Japan to sustainably grow its economy while accepting foreign workers? (日本は外国人労働者を受け入れて持続的に経済を成長させることができるか？)
	6	A	5128	The Relationship between Authenticity and Dramaturgy（同性友人関係において求められる「真正さ」とドラマツルギーの関係とは？）
		B	5205	How can we spread peer counseling to teenagers?（ピアカウンセリングを中高生に普及させるには）
	7	A	5315	What is the reality of local resource utilization in Nakano Ward? (中野区の地域資源活用の実態は？)
		B	5335	Why do many young Koreans speak Japanese? (韓国人の若者はなぜ日本語を話せる人が多いのか？)
	8	A	5138	How should we deal with caring for our parents?（親の介護にどう向き合うべきか）
		B	5338	How to make tatoos more acceptable in Japan (日本でもっとタトゥーが受け入れられるようになるには)
心理（一瀬先生）	9	A	5102	日本の漫画においてこれから重視されるのは独自性と模倣性のどちらといえるのか
		B	5109	魚を左向きに描く人が多いのはなぜか
	10	A	5121	初見の印象はザイオンス効果で覆すことが出来るのか
		B	5204	なぜ若者世代の日本人は同年代の外国人に比べ自己肯定感が低いのか
	11	A	5211	思い込みで身体的パフォーマンスは向上するのか
		B	5310	麻雀が現代の娯楽に求められているのはなぜか
	12	A	5318	勉強時、スマートフォンが高校生に与える影響と最適な使用方法とは
		B	5324	音楽は学習にどのように活かすべきか
	13	A	5337	アイドルのメンバーカラーとメンバー間の関係のイメージについて

前半

発表時間
① 13:00~13:15 ② 13:15~13:30 ③ 13:30~13:45

高校２年
保護者用
QR コード

ゼミ	パネル		発表者	発表タイトル
法律・政治（爲藤先生 下司先生）	13	B	5120	生命科学技術に対する法的規制のあるべき姿とは？
	14	A	5214	徴兵令は日本の国民にとって導入すべきなのか
		B	5220	修復的司法は日本の傷害・暴行事件にどう影響するのか？
	15	A	5225	授業中の居眠りを減らし学習を最適化する方法について
		B	5233	教員不足を解消するための方策
	16	A	5238	日本の自転車交通事故の全事故数に占める構成比を減少させるには
		B	5313	機械学習に対する著作権保護のあり方とは
	17	A	5322	冤罪事件をなくすために私たちはどうするべきか？
		B	5327	日露平和条約締結による北方領土問題解決は可能か？
人文（石鍋先生）	18	A	5117	教科書から見る歴史教育の理想とは
		B	5123	格付けチェックを視聴する中での問題点
	19	A	5133	ドラムのリズムパターンが感情に及ぼす影響
		B	5221	夢野久作はなぜ童話から探偵小説に作風を変えたのか
	20	A	5304	名探偵コナンから見るアニメの表現の発達の幅の発達
		B	5309	アイドルダンスが観衆にもたらす影響とは
	21	A	5330	多くの高校生が求めるメロンパンとは
		B	5332	即興演劇において双子の場合アイコンタクトは減るのか
	22	A	5336	人間の行動の原因となる個人の時間に対する価値観の差異はどのような条件で決まるのか、又は変化するのか？
科学技術・工（塚本先生）	22	B	5112	耐久性の高い形状とは？
	23	A	5203	音響設備（ホーンスピーカー）の防音性能を向上させる方法
		B	5218	エモい写りをするレンズとはどのようなものか
生化学・環境（七森先生）	24	A	5110	桜の香りのフェノロジー ー葉の成長と季節変化に伴うクマリン濃度の追跡ー
		B	5135	ナンキョクオキアミ及びマイワシ、カタクチイワシにマイクロプラスチックはどのくらい含まれているのか？ ー海洋生態系の食物連鎖におけるヒゲクジラ類のマイクロプラスチック蓄積の原因を探るー
	25	A	5219	蚕糞は土壌分解速度に影響を与えるか？ ー蚕糞の新効果を見出す。全地球の大気環境に深く関わる土壌有機物の分解を掘り下げるー
		B	5237	シンナムアルデヒドの量と効果は茶の種類によって違いがあるのか？
	26	A	5329	昆虫の排泄物を用いた堆肥は牛糞堆肥と比べ農業に適しているか
物理・数学（木俣先生）	26	B	5129	2 階建て一軒家において風通しの良さと耐震を両立した家とは？
	27	A	5213	綿の密度の変化と防音性にはどのような関係があるか
		B	5235	グラデーションの配色は色の表現方法によってどのような違いがあるのか
	28	A	5333	最も効率的な暗記学習を行える音環境とはどのようなものか
ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ（武田先生）	28	B	5228	女子高生における貧血の原因にはどのようなものがあるか？
	29	A	5231	ペンシルズの確定定理
		B	5303	中学校教育をゲームでサポートするには？

発表タイトル 高2

ゼミ	パネル		発表者	発表タイトル
商・経営（今田先生）	1	A	5115	世田谷区において整形外科の開業医の経営戦略とは
		B	5119	都立大泉高校の生徒の自販機に対する満足度を改善するためにはどうすればよいか
	2	A	5136	高校生に今１番売れるであろうアイシャドウパレットの色の組み合わせとは？
		B	5206	どうしたらテーマパークで身に着けグッズが売れるのか？
	3	A	5215	より効果的な選挙ポスターのデザインとは
		B	5229	日本の女子高校生が継続的に利用し続けるファッション通販とは
	4	A	5311	スターバックスの経営戦略をモスバーガーに活かす
		B	5317	出演者の違いによるテレビ CM がもたらす経済効果の変化について
グローバル（田中先生）	5	A	5105	Why Japanese people don't continue to live in highly technologically advanced Japanese housing for a long time?（高い技術の使われている日本の住宅に日本人が長く住み続けないのはなぜか？）
		B	5125	What kind of international cooperation is possible through physical education?（体育科教育によってどのような国際協力が可能か？）
	6	A	5134	What would it be ilke to introduce an easy-to-educate writing system to the Japanese language anew?（日本語に教育しやすい文字を新たに導入するならどのようなものか？）
		B	5216	What are the trends of recent Best Picture Academy Award winners?（近年のアカデミー作品賞の受賞作品の傾向は何か）
	7	A	5328	Why did 'Ningyo' come to refer only to mermaids?（なぜ「人魚」はマーメイドのみを指すようになったのか？）
		B	5137	How Can We Control the Increase in Space Debris?（どのようにすればスペースデブリの増加を抑制できるのか）
	8	A	5239	Flat Earther and Conspiracy Theory（地球平面説の現状と陰謀論）
心理（一瀬先生）	8	B	5101	テスト成績掲示と承認欲求の関係とは
	9	A	5104	中高生の授業において、学生と教員の双方がストレスなくオンライン授業をするにはどうすればよいか？
		B	5111	購買意欲が高まるチラシの作り方とは？
	10	A	5130	かわいいの正体は何？
		B	5207	爬虫類と両生類が嫌われる要素と要因について
	11	A	5302	起床時のアラーム音に適した音とは
		B	5312	性差の観点から見る最も成功率の高い告白とは何か
	12	A	5323	なぜボカロが再流行したのか？
		B	5326	アンケートで中間選択を行うときの心理とは？

後半

発表時間
① 13:55~14:10 ② 14:10~14:25 ③ 14:25~14:40

高校２年
保護者用
QR コード

ゼミ	パネル		発表者	発表タイトル
法律・政治（爲藤先生 下司先生）	13	A	5107	シベリア抑留における国際法違反はどのようなものなのか
		B	5126	日本での死刑囚のラストミール制度は認めるべきか
	14	A	5217	中華人民共和国成立以前の中国において民主化の可能性はあったのか
		B	5223	コートジボワールの児童をカカオ農園での労働から解放するためには
	15	A	5227	不逮捕特権は本当に必要なのか
		B	5236	実現可能な法的リスク・利益の操作から見る法律
	16	A	5301	経済効果という視点では IR 施設は大阪府に建設するべきか？
		B	5319	自動運転車による事故の責任は、何に帰属するのが適切か
	17	A	5325	動物裁判から見る中世ヨーロッパの自然観とはどのようなものか
人文（石鍋先生）	17	B	5106	書道でお手本に似せるのは正義なのか？
	18	A	5122	人間と動物の利他性の違い
		B	5132	建築芸術における窓の歴史 ーステンドグラスに注目してー
	19	A	5208	源氏物語の母親から読み取れる母親の役割とは？
		B	5224	中学生の学習意欲が上昇しないのはなぜか？
	20	A	5306	ピアニストのパフォーマンスにおける心理的不安を解消するには
		B	5314	若者の迷惑行為の数を減らすために、小中学校は道徳をどのように捉え、義務教育下の生徒に対し、どのように教えるべきか
	21	A	5331	筆跡と MBTI の関係とは何か
		B	5334	日本アカデミー賞を受賞する映画とは
化学技術・工（塚本先生）	22	A	5103	テオヤンセン機構を用いた全方向に移動可能なロボットを製作する上で必要な要素とは？
		B	5131	音響設備の騒音問題と設置方法について
	23	A	5209	自転車でのルート検索における最適化の方法とは？
		B	5307	画像認識により将来の毛髪脱漏を予測することは可能か？
生化学・環境（七森先生）	24	A	5118	アブラヤシのプランテーションが使われなくなった場合どのような課題があるのか？ ー泥炭地における火災の大規模化・二酸化炭素の排出を抑えるためには？ー
		B	5202	Graptopetalum paraguayense の抗酸化能は他の野菜と比べて高いのだろうか
	25	A	5234	未来の調理の可能性はどのように広がるか？ ー低温調理で不可食部を減らし美味しい可食部へ変えるー
		B	5305	加齢に伴って皮膚のバリア機能はどう変化するのか？
物理・数学（木俣先生）	26	A	5113	ダイラタント流体にかかる圧力と物体の沈殿速度の関係式はどのようなものになるか
		B	5210	車いすやキックボードの代替手段として自動立ち乗り二輪車（セグウェイ）をどのように活用することが必要か？
	27	A	5222	テニスのガットを長持ちさせるには
		B	5320	多肉植物が外見的に変異するために必要な自然的条件とは
ﾃﾞｰﾀｻｲｴﾝｽ（武田先生）	28	A	5127	自然音にカエルの鳴き声は含まれるか？
		B	5230	企業の立場から見る所得向上における課題
	29	A	5232	訓練データが足りないときに

メモ

運営委員

委員長：中村 真奈　**副委員長**：近藤 まひろ

学年担当：山田 裕太郎・森本 航平・渡辺 泰斗・木野村 舞・平野 真菜
野口 結羽・鬼塚 姫良・別所 龍樹・緒方 杏南・齋藤 結生
中西 梨紗・渡辺 里・山口 仁太郎・佐々木 志帆・松本 あさひ

パンフレット製作：石川 拓人・衣川 頌平・竹田 航大・森田 和祐・西川 結愛
表紙デザイン：佐藤 栞

審査基準

観点	審査要素
背景・RQ・仮説	探究の背景・動機が述べられている。
	探究の目的・ＲＱが示され、具体的に何を明らかにしようとしているのか明確である。
	目的・ＲＱと、仮説あるいは探究手法との関係が適切である。
	キーワード・専門用語の定義を正しく述べている。
	データの収集が広域で、信頼度の高いものである。
手法・結果・考察	先行研究・事例と自らの考えを明確に分けて、それらの関係について言及している。
	探究手法の具体的な方法・手順を適切に示している。
	導き出した結果の根拠が論理的である。
	結果と、ＲＱや仮説との関係を明らかにしている。
	研究の意義や、新たな仮説・展望を示している。
発表資料	タイトルや、小見出しなどがわかりやすい（文字サイズ・フォント等含む）。
	図・表を適切に提示している（タイトル・単位・凡例等含む）。
	図・表や資料に基づいて、結果や考察を導いている。
	引用・参考文献リストが正しく示されている（『課題探究メソッド』参照）。
発表態度	声量が適当である。はっきりと聞き取れる。
	聴衆に向けて、わかりやすく説明している。
	発表資料を指し示しながら、聴衆とアイコンタクトができている。
	発表時間が過不足なく適当である。
	見学者の質問に対する応対が適切である。

賞について

学年賞 …学年ごと各３名、合計１５名

・事前審査および当日審査により選出される。

・上位３名は、閉会式で行われる決戦プレゼンテーションへ進出する。

アワード …Gold, Silver, Bronze 各１名

・決戦プレゼンテーションにより決定する。

・Gold 受賞者には、トロフィーが授与される。

東京都立大泉高等学校
附属中学校

製作：東京都立大泉高等学校・附属中学校
OIZUMI AWARD 運営委員会
住所：東京都練馬区東大泉 5-3-1
TEL：03 (3924) 0318